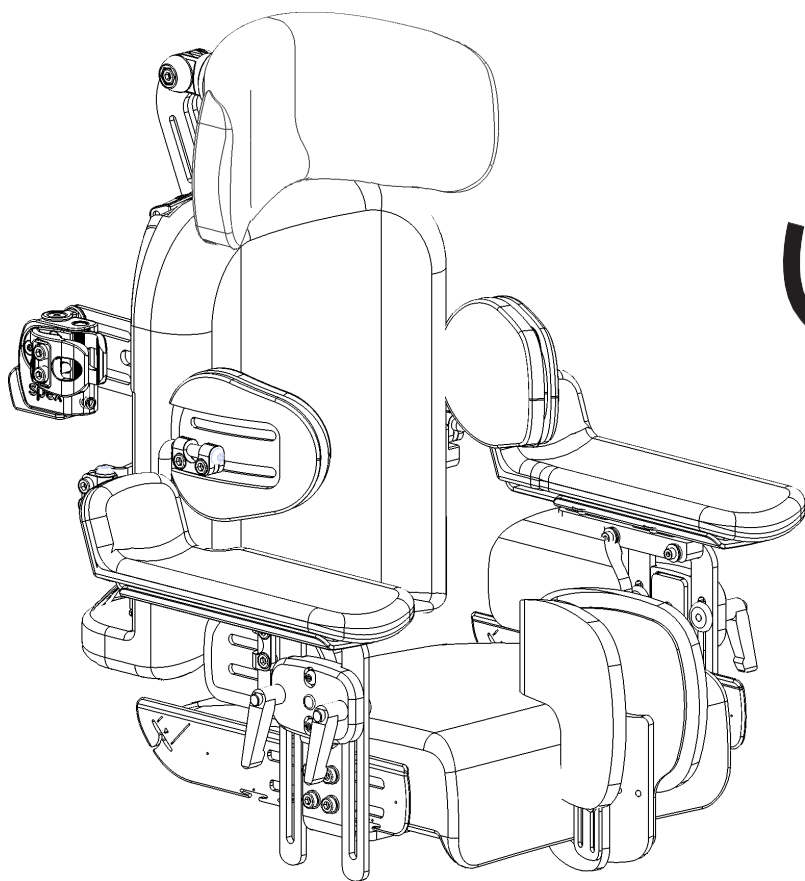




**Wonderseat**  
by spex

Wonderseat Bounce &  
Space Seating Systems

ユーザーマニュアル

**重要なお知らせ**

この取扱説明書には、本製品の使用者にとって重要な指示が記載されています。この取扱説明書は、必ずエンドユーザーにお渡ししてください。

販売店様：この取扱説明書は、本製品の使用者にお渡しください。

ユーザー様/介助者様：本製品を使用する前に、この取扱説明書全体を読み、いつでも参照できるよう保管してください。シーティングシステムを車両で使用する前に、車載時についての項目を必ずお読みください。

MD：この製品は医療機器 (Medical Device) です。

シリアルナンバー

# 目次

|                     |    |
|---------------------|----|
| はじめに .....          | 2  |
| 使用目的 .....          | 3  |
| 禁忌事項 .....          | 3  |
| 安全上の注意 .....        | 3  |
| 耐荷重 .....           | 3  |
| 使用環境 .....          | 4  |
| 互換性 .....           | 4  |
| メンテナンスとクリーニング ..... | 5  |
| バックサポート面の形状調整 ..... | 12 |
| 別のユーザーへの再使用 .....   | 13 |
| 廃棄とリサイクル .....      | 13 |
| 車載時の安全性 .....       | 14 |
| バックサポート輪郭図 .....    | 19 |

## はじめに

ワンダーシート・バウンスとワンダーシート・スペースは、モジュール式で調節可能な車椅子用シーティングシステムです。すべての部品に輸送中の損傷がないことを確認してください。必要であれば、ユーキ・トレーディングに連絡し詳しい指示を仰いでください。

製造元であるSpex社は、ワンダーシートシステムが使用者に適切かどうかを判断するために、車椅子シーティングおよびポジショニングに熟練した作業療法士または理学療法士などの臨床医に相談されることをお勧めしています。

## 使用目的

ワンダーシート・シーティングシステムは、日常生活や乗り物での移動のために、車椅子に座った姿勢で身体機能を快適にするための特別な姿勢やポジショニングのサポートを必要とする小児ユーザー（身体障害者／怪我や病気の後遺症などで座位がとりにくい方）を対象としています。人間工学に基づいた調整機能により、個人の身体姿勢の改善、座っての作業や活動に伴う身体的問題の予防・軽減を目的として設計されています。

## 禁忌事項

1. ワンダーシート・シーティングシステムを使用すると、車椅子の重心に影響を与え、車椅子が傾き、怪我をする可能性があります。車椅子の安定性を高めるために、転倒防止装置や切断者用アクスルアダプターブラケットを追加する選択肢を常に判断してください。
2. 皮膚が赤くなっていないか、褥瘡が出来ていないか定期的に確認してください。皮膚に赤みが出た場合は、使用を中止し、医師またはセラピストに相談してください。

## 安全上の注意

怪我を避けるため、シーティングシステムを取り付け、使用する前に、本取扱説明書の指示および警告をすべて読み、理解し、それに従ってください。車椅子や補装具の使用には危険が伴います。車椅子やシーティングシステムを誤って使用すると、重傷を負う可能性があります。シーティングシステムが意図したとおりに機能しなくなった場合は、使用を続ける前に直ちにSpex Seatingの正規販売店にご相談ください。本製品に関連する重大な事故が発生した場合は、Spex社に報告してください。

ワンダーシート・シーティングシステムは ISO 16840-10:2015; Wheelchairs - Resistance to ignition of non-integrated seat and back support cushions の要件を満たしています。使用されている素材は、California Technical Bulletin 117の燃焼性要件を満たしています。まれに、この製品に使用されている生地が、敏感肌の方の皮膚に刺激を与える場合があります。皮膚が赤くなったりかゆくなったりする場合は、専門家にご相談ください。

**免責事項：**Spex社は、当社製品の治療効果に関して一切の責任を負いません。当社の主張は、製品が安全で信頼できるポジショニングとシーティングを提供する能力に関するものです。

## 耐荷重

耐荷重：47 kg (104 lb)



### 警告

シーティングシステムまたは車椅子メーカーが指定する車椅子の耐荷重を絶対に超えないでください。車椅子の耐荷重を超えるようなウェイトトレーニングは絶対に行わないでください。

## 使用環境

- 湿気:** シーティングシステムが水や過剰な湿気に触れると、腐食やシーティングシステムの機能低下、故障の原因になることがあります。シーティングシステムが湿ったり濡れたりした場合は、できるだけ早く乾いた布で完全に拭き取ってください。シーティングシステムをシャワー室やプールで使用しないでください。
- 温度:** シーティングシステムを極端な温度で使用すると、意図した通りに機能しない場合があります。金属部品による火傷を避けるため、シーティングシステムを極端な高温または低温の場所から遠ざけてください。
- 汚れ:** ほこり、チリ、砂などの細かな粒子は、最適な機能を制限する可能性があります。シーティングシステムを定期的に点検し、開口部や可動部周辺に堆積物がないことを確認してください。

## 互換性

- Spex社は、直径0.75インチ(19mm)から1インチ(26mm)の丸型の垂直および水平のパイプを持つほとんどの車椅子にシーティングシステムを使用することを推奨しています。
- シーティングシステムを取り付けることができない車椅子には、パイプのない車椅子や一部の電動車椅子が含まれます。
- ワンダーシート・シーティングシステムの構成部品は、シーティングシステムの一部としてテストおよび認証されており、他のブランドの車椅子シーティングアイテムとの併用には適さない場合があります。
- ワンダーシート・シーティングシステムの部品がSpex製以外の他のシーティング製品と共に使用される場合、この構成はテストおよび認証されていないとみなされ、処方者／購入者は結果に対する全責任を負うことになります。



## 警告

警告に従わない場合、事故、怪我、痛み、または死亡に至る危険性があります。

以下の点について不明な点がある場合は、サポートを求めてください。

- シーティングシステムは部分的に組み立てられ、ブラケット類が緩く取り付けられた状態で出荷されます。車椅子を使用する前に、すべての金具が正しく取り付けられ、締め付けられていることを確認することは、取付者の責任です。
- シーティング・システムの取り付けと調整は、以下の方のみが行ってください。
  - Spex正規販売店または技術者
  - 適切な生体力学のトレーニングを受けた有資格の医療従事者。
- シーティングシステムの改造や変更は行わないでください。保証が無効になります。

4. このシーティングシステムには、Spex純正アクセサリ、コンポーネント、アタッチメントのみ使用してください。
5. シーティングシステムを持って車椅子を持ち上げたり、押したりしないでください。
6. 部品が欠けていたり、機能不全だったり、故障している場合は、絶対にシーティング・システムを使用しないでください。修理、交換、調整については、資格のある人の援助を受けてください。
7. シーティングシステムの装着が不十分な場合、姿勢の問題を悪化させ、利用者の全体的な安全性を損なう可能性があります。
8. 利用者はシーティング・システムに無理な力をかけてはいけません。
9. 利用者を車椅子に座らせる前に、全てのネジ類、バックルなどがしっかりと締まっていることを確認してください。
10. シーティングシステムから利用者を移乗させる際は注意してください。利用者が車椅子から転落したり、サポートを外した際に怪我をする可能性があります。
11. トラップとピンチポイントに注意してください。移動や調節の際、身体のすべての部位が邪魔にならないようにしてください。
12. クイックリリースラッチが常に正しくはめ込まれていることを確認してください。クイックリリースラッチがかみ合っていないと、シーティングシステムが外れて怪我をする恐れがあります。
13. 車両内での固定に適切な装置を使用しないと、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。
14. シーティングシステムをカバーなしで使用しないでください。火や燃焼中のタバコの近くでは注意してください。シーティングシステムをカバーなしで使用すると、可燃性や皮膚損傷の危険性が高まります。

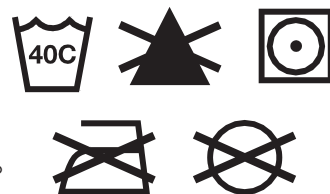
## メンテナンスとクリーニング

Spexは、6ヶ月ごとに、ボルトの緩みや部品の破損など、すべての部品の摩耗を点検することを推奨します。緩んだファスナーは、取り付け説明書に従って締め直してください。壊れた部品を交換する場合は、直ちにSpex正規販売店にご連絡ください。部品の緩みや破損を確認した後は、システムの使用を続けしないでください。クリーニング手順に関するご質問は、Spex正規販売店までお問い合わせください。シーティングシステムの期待寿命は5年です。

Spexでは、AHP（加速過酸化水素）での清拭の使用を推奨しています。消毒剤はメーカーの指示通りに使用してください。Spexは消毒の効果について責任を負いません。

### フォーム

- 乾燥状態を保ってください。
- 定期的にフォームをチェックし、フォームの均一性を保ってください。



- 誤って濡れてしまった場合は、カバーを取り替える前に十分に乾かしてください。

## 失禁カバー

- 手洗いのみ。
- 漂白剤など強い洗剤は使用しないでください。
- タンブル乾燥はしないでください。
- このカバーを使用しないと、シーティングシステムの寿命が短くなることがあります。

## アウターカバー

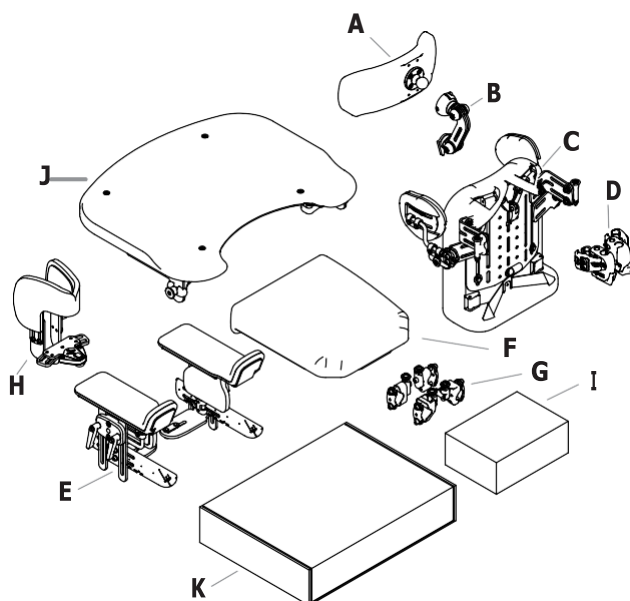
- カバーをフォームベースから取り外し、裏返しにします。
- 洗濯機で温水（40°C / 104°F）を使用して洗浄できます。
- 乾燥機の低温での乾燥が可能です。
- アイロンがけ、ドライクリーニング、漂白はしないでください。
- 化学洗浄剤を使用した場合は、カバーを水でよくすすいで残留物を取り除き、完全に乾かしてから使用してください。
- カバーに痛みや過度の磨耗がないか確認し、破れや裂けがあるなど、完全に機能しない場合は交換してください。

## Hardware

- 中性洗剤と水で拭いてください。
- AHP（促進過酸化水素）の清拭で消毒します。
- 薬品の残留物はきれいな水で拭き取り、拭き取った後は十分に乾燥させます。

## Wonderseat 付属品

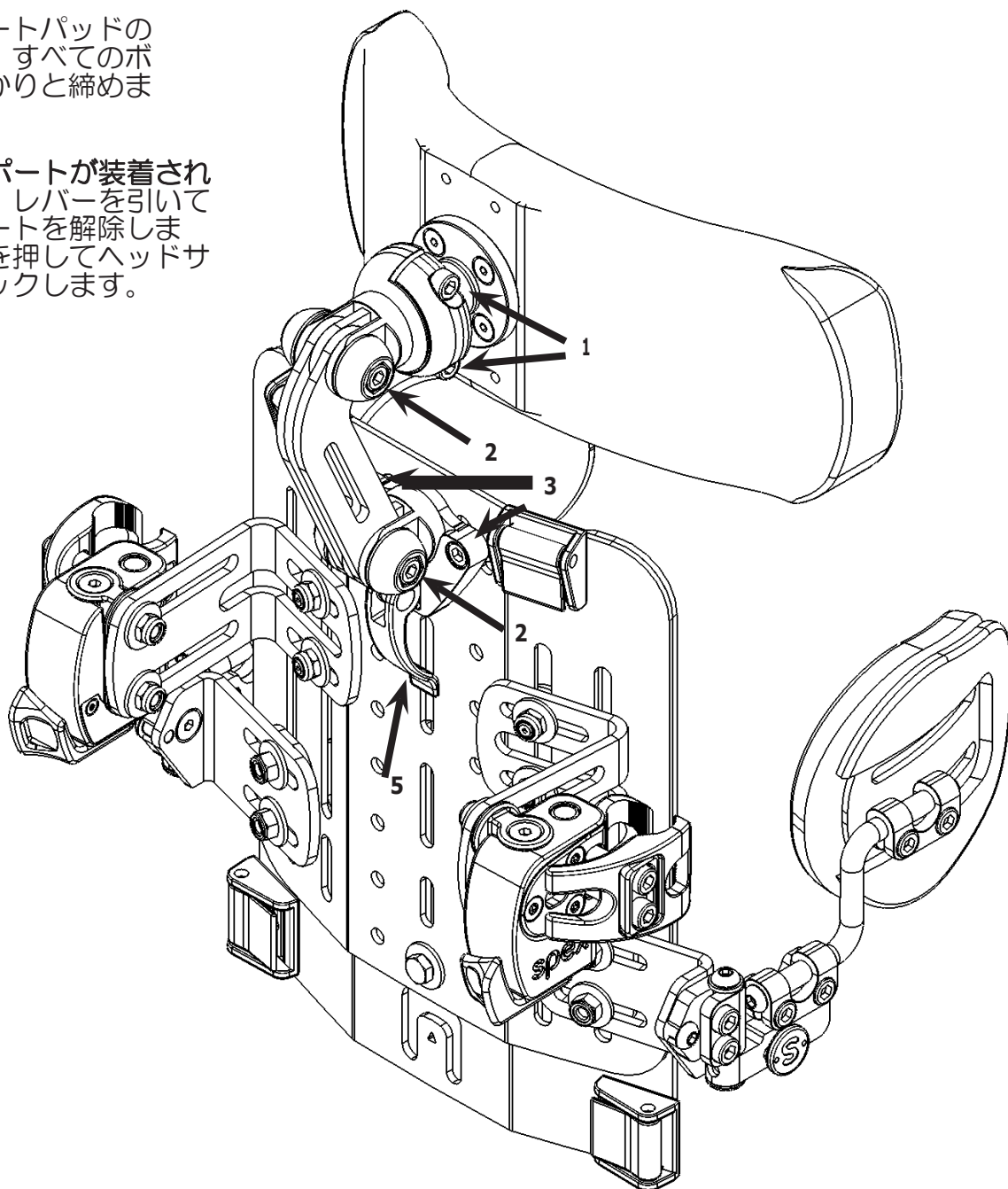
|   | 品目          | 数量    |        |
|---|-------------|-------|--------|
|   |             | Space | Bounce |
| A | ヘッドサポートパッド  | 1     | 1      |
| B | ヘッドサポート金具   | 1     | 1      |
| C | バックサポート     | 1     | 1      |
| D | バックサポート金具   | 2     | 2      |
| E | アーム&大腿サポート  | 2     | 2      |
| F | シートクッション    | 1     | 1      |
| G | シートベースマウント  | 4     | 4      |
| H | 内転防止パッド     | 1     | 0      |
| I | ヒップベルト・胸ベルト | 1     | 1      |
| J | テーブル(オプション) | 0     | 0      |
| K | Bit-Box     | 1     | 1      |



# ヘッドサポートのパッド位置調整

● 5mm六角レンチを使用します。

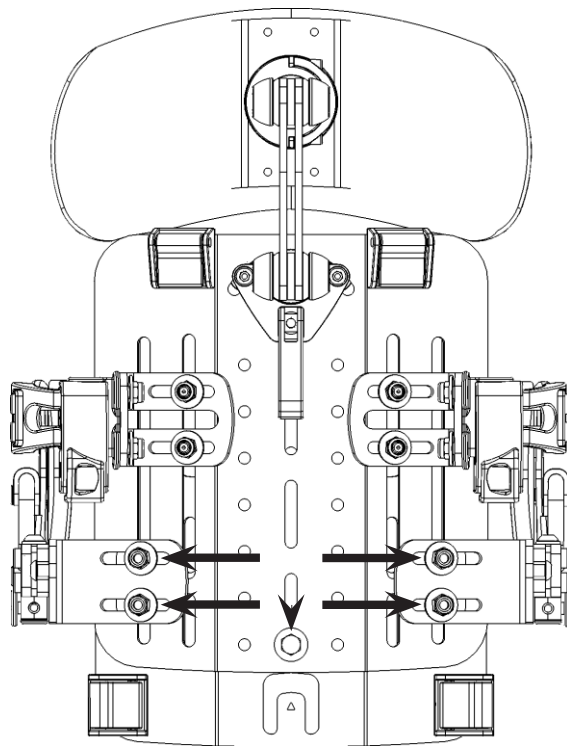
1. 上部ボールジョイントのボルトを緩め、角度を調整します。
2. ポジショニングアームとトップボールジョイントのボルトを緩め、高さを調整します。
3. バックサポートマウントのボルトを緩め横方向に調整します。
4. ヘッドサポートパッドの位置を決め、すべてのボルトをしっかりと締めます。
5. (ヘッドサポートが装着されている場合) レバーを引いてヘッドサポートを解除します。レバーを押してヘッドサポートをロックします。



# バックサポートの 高さ調整

- 10mmスパナ

1. 中央のボルトと外側の4つのナットを緩めて高さを調節します。
2. バックサポートの高さに合わせて、カバーの内側にフォームキューブまたはストリップを追加します。



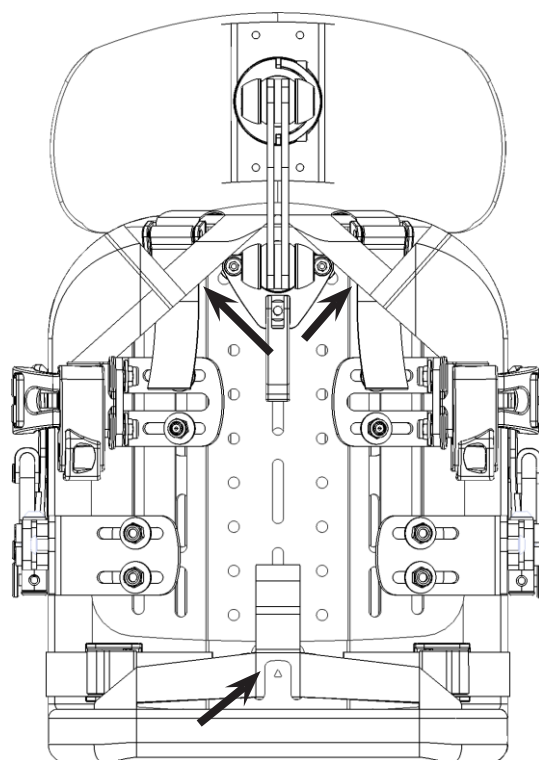
# バックサポートと 胸ベルトの取り付け

- 工具不要

1. バックサポートシェルにフラップが被さるようにカバーを取り付けます。
2. フラップを上側のバックルにかけます。
3. ベルトのストラップを4つのバックルすべてに通します。
4. ストラップの長さを調整し、バックルレバーを閉じベルトを希望の位置に固定します。
5. カバーのストラップをシェル下部のタブに挟み込みます。

*Tip:* ハーネスの間隔は、3mmの六角レンチと8mmのスパナを使ってバックルの取り付け位置を変更することで調整できます。

**警告:** 図のように、上側のストラップとバックルがフラップの下になっていることを確認してください。



# アームサポート&大腿サポートの調整

- 5mm六角レンチ、10mmスパナ

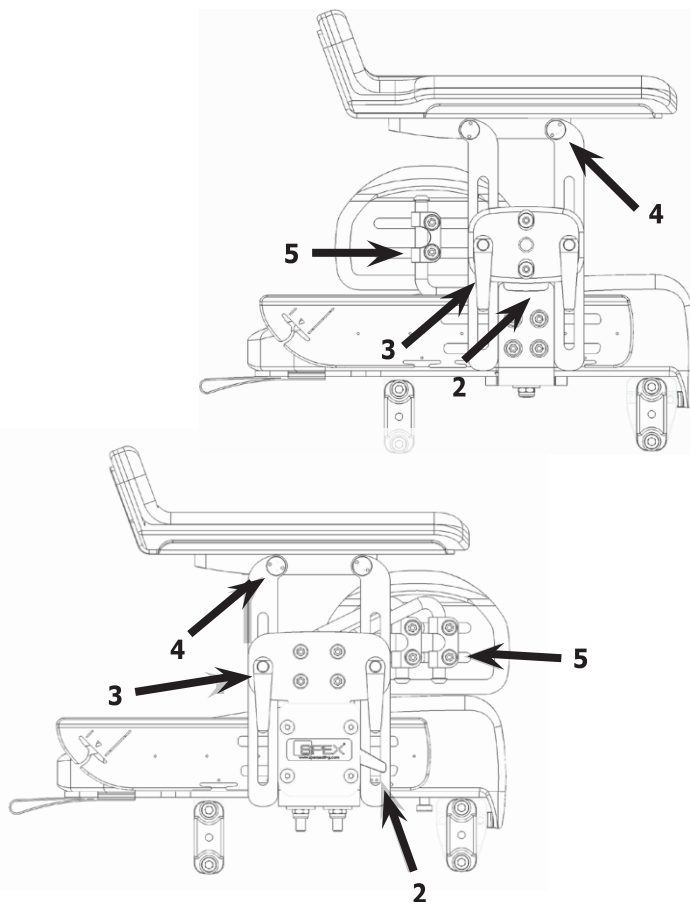
1. 付属のネジ類を使ってシートベースの下にブラケットを取り付けます。
2. 赤いボタンを押すとアームサポートが横に外れます。シルバーのスタブに押し付けて取り付けます。

もしくは

2. 赤いレバーを持ち上げて、腕と太もものサポートを上を外します。レシーバーに落とし込んで取り付けます。

※サイズにより上記どちらかの構造です

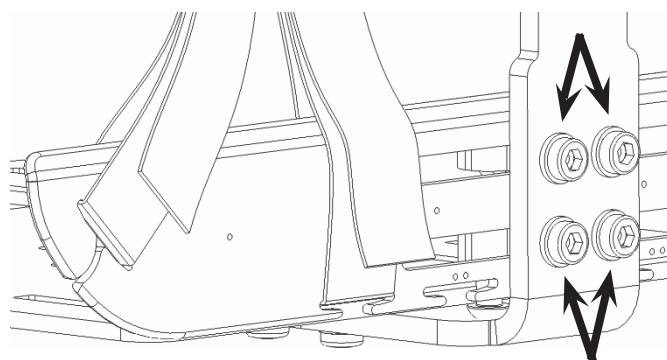
3. プラスチックレバーを緩め、アームサポートの高さと角度を調整します。
4. アームサポートパッド下のネジを緩め、奥行き、幅、角度を調整する。
5. クランプネジをゆるめて大腿部サポートの位置を調整します。



# ヒップベルトの調整と取り外し

- 5mm六角レンチまたは10mmスパナ

1. マウンティングプレートのネジをすべて緩め、マウンティングプレートを前後にスライドさせます。
2. ストラップの長さを変更し、アジャスターを取り付けプレートの上端から10mm上にセットします。
3. ストラップをアジャスターに戻し、ストラップの長さを固定します。
4. ストラップを取り付けプレートから外し、ヒップベルトを取り外します。

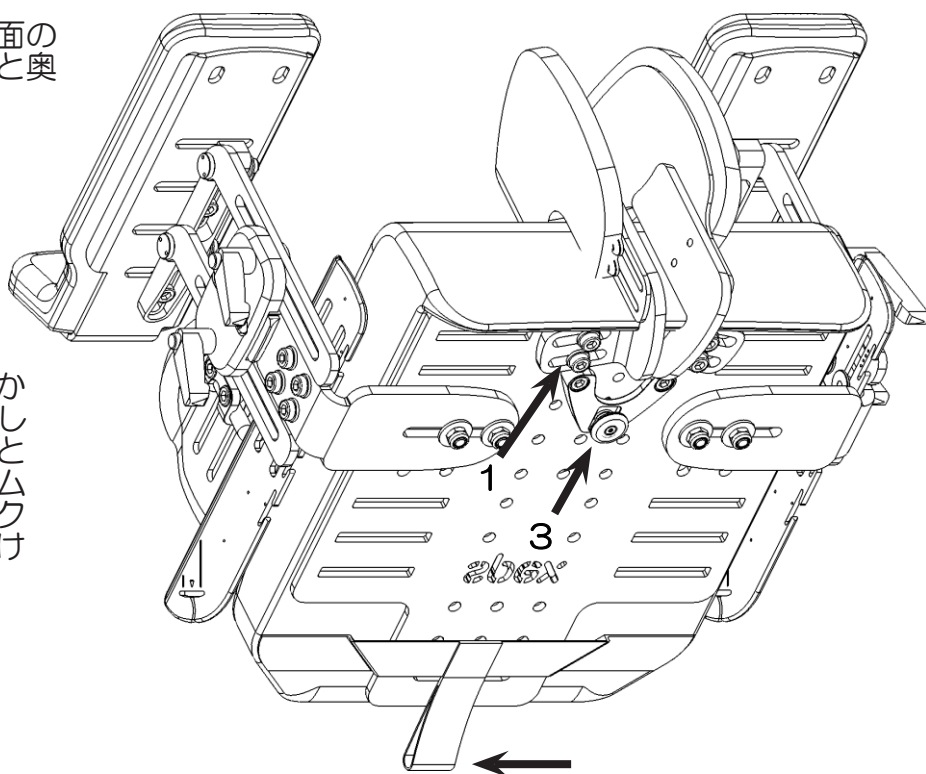


**警告：**ストラップが図のように取り付けプレートの周りにループ状になっていることを確認してください。

# 内転防止パッド(調整式)

- 3mm六角レンチ、5mm六角レンチ

1. サポートブラケットの下にあるネジを緩め、パッドの幅と角度を調整します。
2. ベルクロラップを外し、側面のネジを緩めてパッドの高さと奥行きを調整します。
3. ボタンを上押し、パッドを前方に引くとサポートが外れます。サポートをシーバーにカチッとはめ込むと取り付けられます。
4. カバーを背面からパッドにかぶせます。カバーの裏側がしっかりと固定されていることを確認し、縫い目をフォームの端に合わせます。マジックテープのフラップを取り付けます。



## クッションの調整

- 工具不要

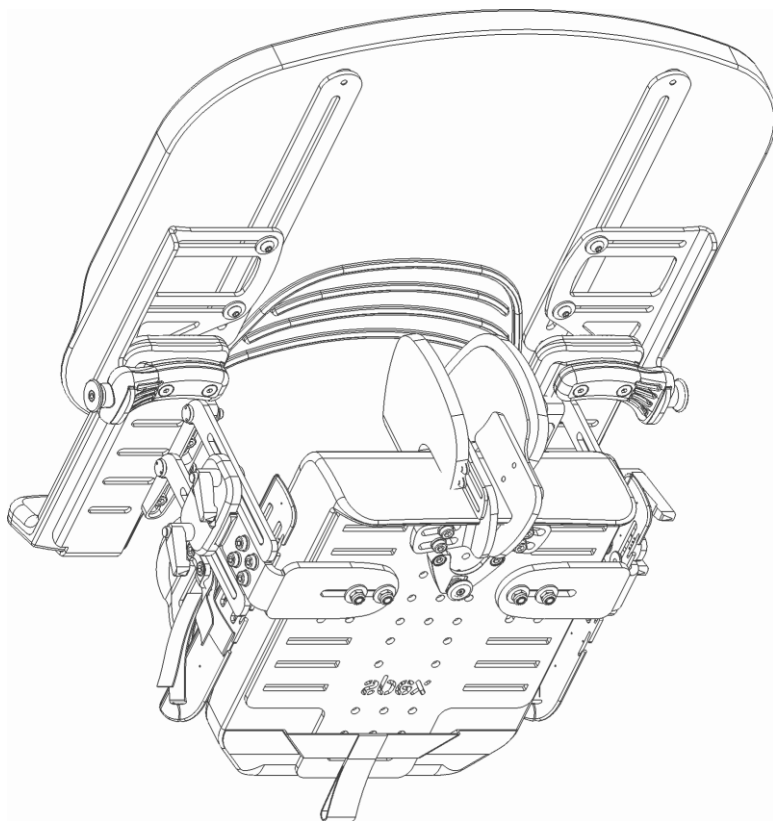
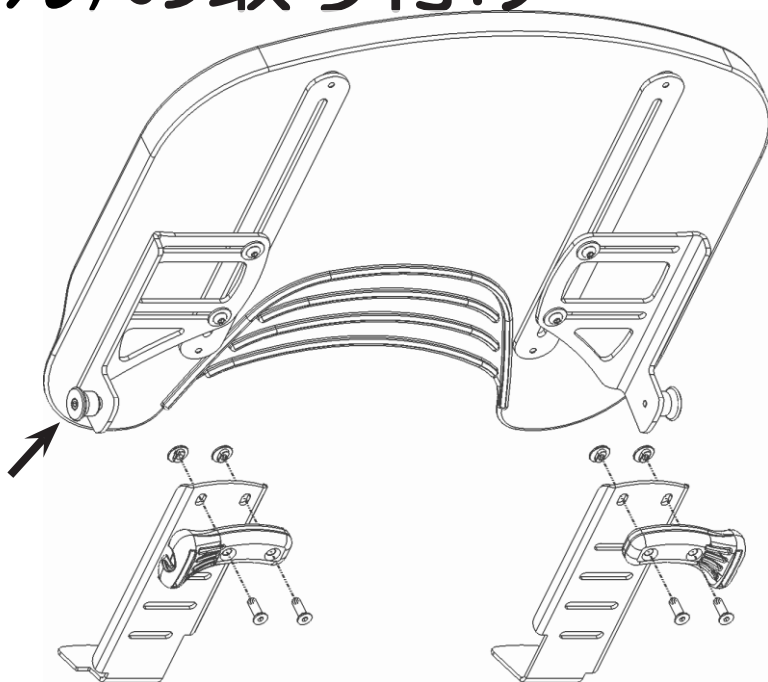
1. リアストラップをシートベース後部のタブにかけます。クッション前部のベルクロを取り外し、クッションを前方にスライドさせます。
2. 両方のカバーを取り外し、クッションのフォームを調整します。クッションビットを使用し調節してください。
3. クッションを使用する前に、両方のカバーを取り付けます。すべてのフォームが正しく配置されていることを確認してください。
4. クッションを後方にスライドさせ、シートベースに取り付けます。クッションの前部をマジックテープで取り付けます。後部ストラップをシートベースの金属タブに引き寄せます(図のように)。クッションが固定されていることを確認します。

# トレイ(テーブル)の取り付け

● 4mm六角レンチ

1. トレイ下部のネジを緩め、ブラケットをレシーバーに合わせます。
2. ブラケットをレシーバーに押し込みます。ノブがカチッと音がするまでトレイを押し下げます。
3. トレイの奥行きと位置を調整し、下にあるすべてのネジを締めます。
4. 両方のノブを引き出し、持ち上げてトレイを外します。

**注意：**ノブをトレイブラケットに取り付けているネジを調整しないでください。



# バックサポート面の形状調整

## (Wonderseat Spaceのみ)

クラシック・バックサポートは、姿勢の非対称性に対応し、さまざまな体型に適応するように設計されています。この項目では、クラシック・バックサポートの内部構造をどのように変更できるかを示しています。

各キューブ・コンパートメントには2個のキューブが入っています。これらは必要に応じて取り外したり、追加したりできます。各コンパートメントには最大3層のキューブを入れることができます。未使用のキューブは保管しておいてください。後日、利用者のニーズが変わった場合に使用することができます。キューブは常にバックサポートの背面を向いている必要があります。

### 背中／脊椎の突出部

バックサポートのジッパーを開け、輪郭を描くインナーセクションを外します。これをカバーから取り外します。これで、背中の突出部をバックサポートがかかわる必要がある部分から、何層にもなった輪郭キューブを取り除くことができます。コンパートメントのキューブをすべて取り外しても、突出部を収容するのに十分なパッドがユーザーの後ろにあります。

### 背中／脊椎のくぼみ

バックサポートのジッパーを開け、輪郭を描くインナーセクションを外します。これをカバーから取り外します。これで、背中のくぼみにより多くの輪郭サポートが必要な部分に、輪郭キューブを何層にも重ねることができます。

### 利用者が車椅子に座った状態での調整方法

この調整作業には二人が必要です。この調整を行う前に、柔らかいヘッドピローまたは同様のパッド入りのものを用意してください。

 **警告** 利用者がヒップベルトを締めていることを確認してください。

利用者を前傾させてバックサポートの内側の輪郭部分を取り外し（カバーはバックサポートシェルに固定されたまま）、枕と交換します。

利用者を後ろにもたれさせます。

 **警告** 二人目の人は利用者のそばで利用者を支え、転倒しないようにしてください。

これで輪郭部分を利用者の姿勢に合わせて変更することができます。終了後、枕を取り外し、内側の輪郭部分を再度挿入してください。

# 別のユーザーへの再使用

ワンダーシート・シーティングシステムを使用し終わった後、他の利用者に譲渡する場合は、改修と徹底的なクリーニングが必要です。以下はシーティングシステムを再生するための厳格なガイドラインです。Spexは汚染、交差感染、損傷に対して責任を負いません。SpexはAHP（加速過酸化水素）での清拭を推奨します。消毒剤はメーカーの指示通りに使用してください。Spexは消毒の効果について責任を負いません。

| 項目             | 手順                                                                                                                                                                        |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安全点検           | すべての構成部品に曲がりやひび割れの兆候がないか点検すること。                                                                                                                                           |
| カバー類           | カバー類は状態にかかわらず交換すること。                                                                                                                                                      |
| ハードウェアとコンポーネント | <p>機構部品が安全に作動することを確認すること。欠品がある場合は注文すること。曲がりやひび割れの兆候がないか確認し、それらが見つかった場合は使用を中止し、直ちに交換すること。</p> <p>中性洗剤やAHP（加速過酸化水素）消毒ウェットティッシュのような高品質の消毒剤で部品を洗浄し、すべての部分に汚れがないことを確認すること。</p> |
| フォーム           | 発泡部品は状態にかかわらず交換すること。                                                                                                                                                      |

# 廃棄とリサイクル

ワンダーシート・シーティングシステムは様々な材料を使用して製造されており、その一部はリサイクルすることができます。耐用年数を過ぎたら、地域の法律や規制に従って処分してください。

スペックスシステムを廃棄する際は、分別回収とリサイクルを行うことで、環境保護と天然資源保護につながります。

# 車載時の安全性

ワンダーシート・シーティングシステムは、RESNA WC-4:2012, Section 20 (WC20)の衝突試験に合格しています。ワンダーシート・シーティングシステムはISO 16840-4:2009の要件を満たし、適切な車椅子ベースと併用することにより、自動車用シートとして使用することができます。本取扱説明書に記載されている全ての設置、使用、メンテナンスに関する説明、および以下の乗り継ぎに関する説明に従ってください。可能であれば、車椅子の利用者は車両シートに移乗し、車両に装備されている乗員拘束システムを使用してください。

ワンダーシート・シーティングシステムは、車両固定式ベルトを適切に使用できるように設計されています。Spexは、附属書Dの方法に基づき、ベルトの適切な位置決めの一やすさ、および適切なベルト拘束ができる度合いについて、Excellent（16点満点中16点）の評価を獲得しました。

## 組み立て・使用・メンテナンス・制限事項

- 車椅子のセットアップの調整は、資格を持ったセラピスト、専門家、またはシーティング技術者のみが行ってください。特注のコンター/オーダーメイドシステムでは、シーティングシステムの設定および取り付けに有資格の専門家が必要となる場合があります。
- 調整を行った後は、車での移動の安全を確保するため、すべてのボルト、ネジ類、ナットがしっかりと固定されていることを確認してください。
- 車椅子フレームへの4点支持をより強固にするため、シートパンのフロントマウントとリアマウントができるだけ離れて取り付けられていることを確認してください。
- バックサポート、シートベース、内転防止パッド、アームサポート、ヘッドサポートの全てのクイックリリースラッチが噛み合っていることを確認してください。
- 衝突テストに合格していないシートコンポーネントがシーティングシステムのどこかに使用されている場合、ワンダーシート・シーティングシステムを車両用シートとして使用しないでください。シーティングシステムは、Spexのコンポーネントのみを使用して設計および認証されています。Spexは、ワンダーシート・シーティングシステムと併用して他メーカーのシーティングシステムを使用した場合、責任を負いません。
- 定期的に、ワンダーシート・シーティングシステムのすべての固定具(ネジ類、ボルト、ナットなど)が使用中に緩んでいないことを確認し、必要であれば締め直してください。
- 自動車で車両用シートとして使用する前に、スイングアウェイ・ラテラルがロック位置にあることを確認してください。
- シートを自動車用シートとして使用する際は、トレイテーブルを使用しないでください。

## 自動車にて使用する際のベルトの正しいポジショニング

ワンダーシート・シーティングシステムを車両用シートとして使用する場合は、必ず骨盤ベルトと肩ベルトの両方を使用してください。車椅子の乗員にベルトを正しく装着するために、以下のことを確認してください。

- 骨盤ベルトは骨盤と大腿部の接合部付近で骨盤の前面を横切る低い位置に装着してください。

- 骨盤ベルトの角度は水平に対して $30^{\circ}$  ～  $75^{\circ}$  の間、理想は $45^{\circ}$  ～  $75^{\circ}$  の間です(図2)。
- 3点式ベルトのバックルは乗員の身体に接触させ、車椅子の部品から離してください。
- 3点式ベルトのショルダーベルトと骨盤ベルトの接合部は、斜めベルトが交差する肩の反対側の腰の近くに位置し、乗員の正中線の近くにはないようにしてください。
- ベルトは、車椅子の車輪の外側や車椅子のアームレストの上を通ってはならず、車椅子の部品やパーツによって身体から離されてはいけません。
- 上半身用のベルトは、肩の真ん中に直接フィットするようにしてください。
- ベルトは、利用者の快適性を考慮し、なるべくぴったりフィットするよう調節されるべきです。
- ベルトは、ベルトのウェビングが乗員に接触する面積を減らすような方法(ねじるなど)で装着してはいけません。



図1

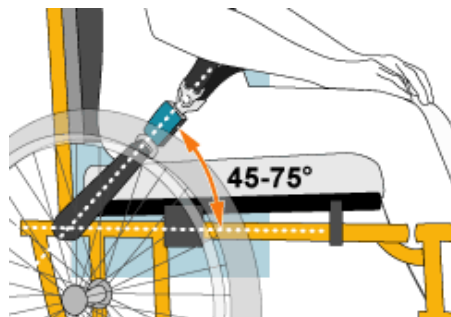


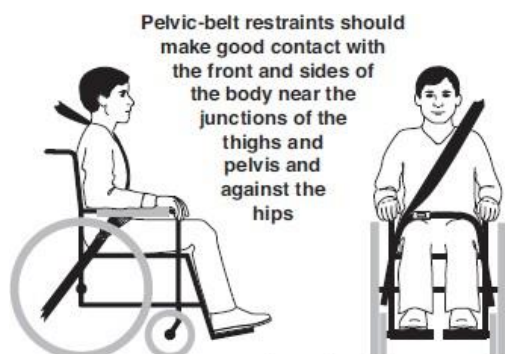
図2



Belt restraints must not be held away from the body by wheelchair components such as armrests or wheels

ベルトがアームレストや車輪など車椅子の部品によって身体から離れてはならない。

図3a - 骨盤ベルトの位置が不適切。アームサポートの外側から取り付けられている。



Pelvic-belt restraints should make good contact with the front and sides of the body near the junctions of the thighs and pelvis and against the hips

骨盤ベルト、大腿と骨盤の接合部付近で、身体の前と側面、および臀部にしっかりと接触していること。

図3b - 骨盤ベルトの正しい取り付け方。

## ⚠ 警告

1. 使用者の肩の上端からバックサポート上端までの距離は、6.5 インチ (16.5cm) を超えないようにしてください。
2. ワンダーシート・シーティングシステムは、ISO 7176-19およびRESNA WC-4:2012、セクション19の要件に適合する車椅子システムの一部として試験された車椅子フレームにのみ使用してください。

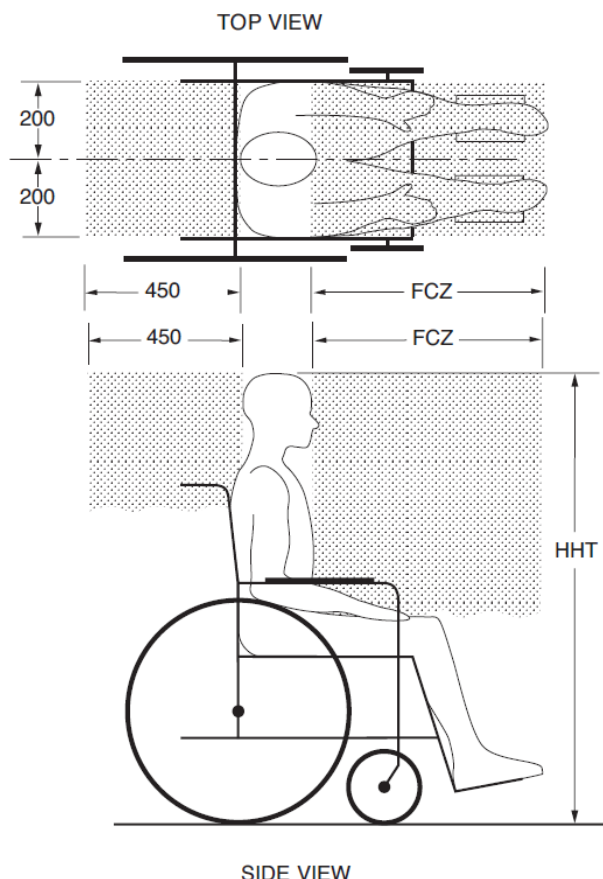
 警告

3. ワンダーシート・シーティングシステムは、RESNA WC-4: 2012、セクション19の要件に適合する 4箇所の固定ポイントと骨盤ベルトのアンカーポイントを備えた車椅子フレームにのみ使用してください。
4. 車椅子は、自動車のシートとして適切である旨のラベルが貼られ、ISO 7176-19の性能要件に準拠した動的試験を受け、製造者の指示に従って設置、使用、メンテナンスされている必要があります。
5. ワンダーシート・シーティングシステムは、本取扱説明書に記載されている使用方法以外では使用しないでください。
6. ISO 10542-1に適合した車椅子タイダウン及び乗員拘束システム(WTORS)の一部として骨盤ベルトと肩ベルトの両方を使用し、車両衝突時の効果的な乗員拘束と最適な保護を実現してください。ベルトは車椅子に適合していなければならず、WTORSの製造者の指示に従い使用者に装着されなければなりません。
7. リクライニング角度が調整可能なバックサポートは、乗員の医療上および姿勢上の必要性がない限り、車両走行中に垂直より30° 以上後ろに傾けてはいけません。
8. 走行中にバックサポートの角度を垂直より30° 以上傾けなければならない場合は、ショルダーベルトの上部のアンカーポイントを後方に調整し、車椅子の乗員の肩と胸にベルトが接触するようにしてください。
9. ワンダーシート・シーティングシステムは、自動車の前向きに使用してください。
10. 車両乗員への傷害の可能性を軽減するため、自動車での移動中に使用することを特に意図していない車椅子に取り付けられたトレイは、次の条件を満たす必要があります。
  - a. 移動時は取り外して車両内に固定する
  - b. 衝突時に外れないように車椅子に固定する
    - ベルトの適切な使用を妨げないよう、トレイの後端と車椅子乗員の腹部や胸部の間は少なくとも75mmの隙間を空けて取り付けてください。

- トレイの後端と車椅子の乗員の間にエネルギーを吸収するパッドを配置します。

11. 事前にSpexへの相談なく、シーティングシステムの構造、部品、コンポーネントの変更や交換を行ってはなりません。
12. 車いすのベースまたはシートフレームに取り付けられた姿勢保持用骨盤ベルトの使用は旅行中に推奨されますが、これらのベルトは、衝突時に適したベルト拘束具の適切なポジショニングの妨げにならないように取り付けられるべきであり、姿勢保持用ベルトがWC19の要件に準拠するよう設計され、その要件を満たしていない限り、衝突時の乗員保護として頼るべきではありません。
13. ISO 16840-4 に準拠していると表示されていない姿勢保持装置は、車内で使用はできますが、乗員の拘束用として頼るべきではありません。
14. WC18やWC19に準拠した骨盤ベルトとショルダーベルトの拘束具は、衝突時の乗員の動きを制限し、乗員が車外に放出される可能性や乗員が車室内に接触して負傷する可能性を低減するために使用されるべきです。
15. WTORSメーカーの指示に従って、ベルト拘束具を車椅子の乗員に装着する必要があります。
16. バックサポートの取付金具は正しく取り付ける必要があります。正しい取り付け手順については、該当するセクションを参照してください。
17. 人がいる状態で車椅子を輸送する場合でも、車椅子を WTORS に固定する必要があります。
18. 体重が22kg（48.5ポンド）未満のお子様は、シーティングシステムではなく自動車での使用を目的とした適切なチャイルドシートに移乗させてください。
19. 車椅子乗員の周囲には、十分な前方および後方のクリアスペースが確保されていなければならない。ショルダーベルトを使用しない場合は、前方クリアランスゾーン（FCZ）を大きくする必要があります。

これらの警告に従わない場合、車椅子使用者または他の人が重傷を負う可能性があります。



注:後ろ側のクリアゾーンは乗員の頭部の最後部から測定し、前側のクリアゾーンは乗員の頭部の最前面から測定します。

着座時の頭の高さ（HHT）は、小柄な成人女性の約1200mmから、背の高い成人男性の約1550mmの範囲です。

FCZ =650mm 胴体上部固定有の場合  
=950mm 骨盤のみ固定の場合

注：骨盤ベルトと胴体上部ベルトの両方を使用することを強く推奨します。

車椅子に座った乗員に推奨される前方および後方のクリアゾーン。

（注：FCZは車椅子に座ったドライバーには達成できない場合があります）。

## 保証

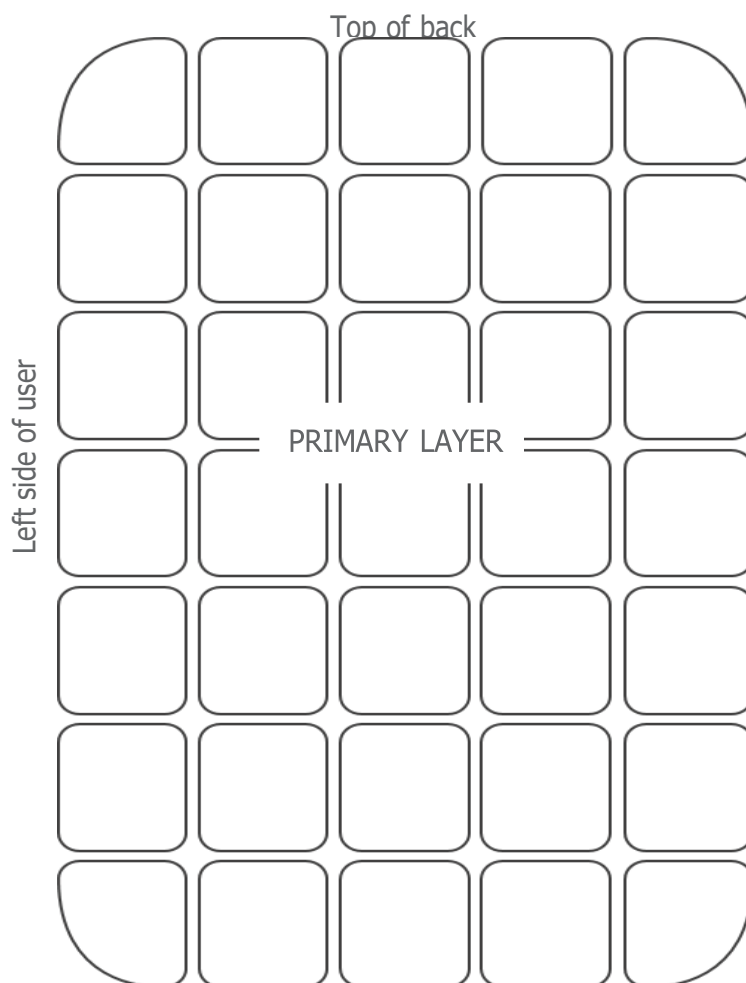
各ワンダーシート・シーティングシステムは、最高の性能を提供するために入念に検査されており、通常の使用であれば、購入日から24か月間、材料および製造上の欠陥がないことが保証されます。購入日から24か月以内に材料または製造上の欠陥が発生した場合、Spexの選択によりその部品を修理するか交換するかを決定し、無償にてこれを実施します。この保証は、フォーム、カバー、ハードウェアを含むシーティングシステム・コンポーネントに適用されます。本保証は、パンク、破れ、火傷を含む一般的な摩耗や使用、またはお客様によるシーティングシステム構成部品の乱用には適用されません。

クレームおよび修理は、最寄りのSpex正規販売店を通じて行ってください。ここに明示された保証を除き、市場におけるあらゆる慣例や暗黙のルールおよび特定目的への適合性の保証を含むその他の保証はすべて除外されます。本書の記述を超える保証はありません。唯一の対応可能な責任範囲は、商品の修理または交換のみです。いかなる場合においても、保証違反に対する損害賠償には、派生的な損害分が含まれたり、販売された不適合品の価格を超えることはありません。

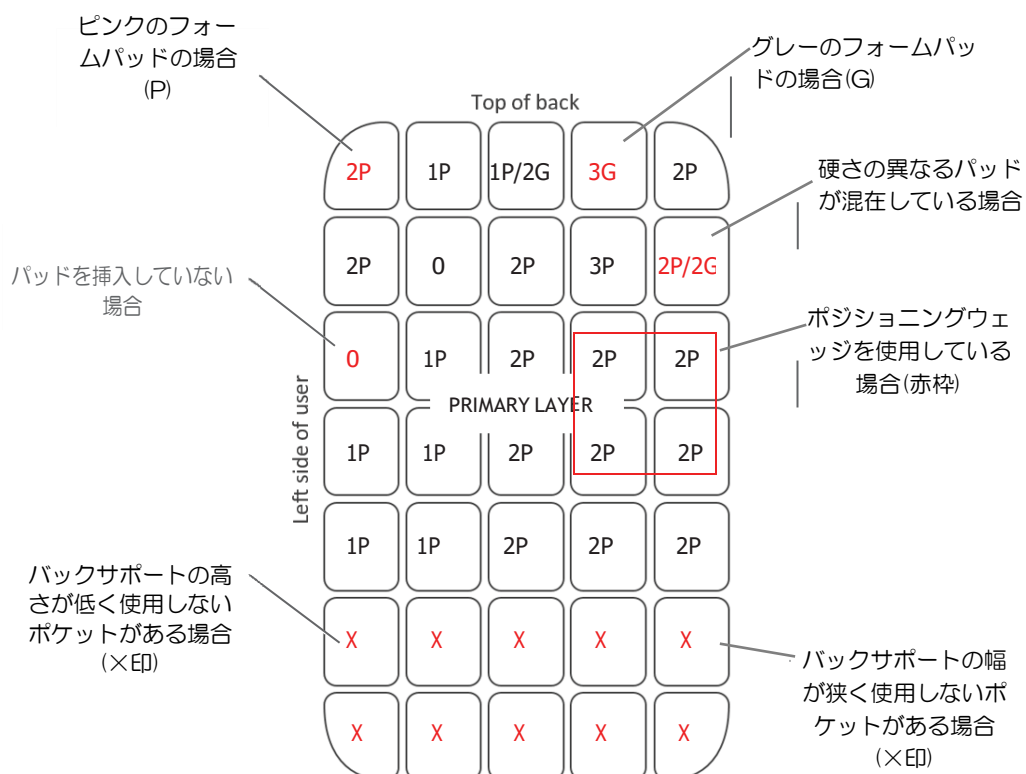
シーティングシステムのシリアル番号は、クッションカバーの底部に記載されています。

# バックサポ ート輪郭図

使用した調整用キューブの数を記録します。この用紙に各ポケットに使用したキューブの数を記入し、将来の参照用に保管しておいてください。



## 記入例



|                 |         |     |       |
|-----------------|---------|-----|-------|
| 保証書 Wonder Seat |         |     |       |
| 会社名             |         | 購入日 | 年 月 日 |
| ご住所             | TEL ( ) |     |       |
| お名前             |         | 年齢  | 歳     |
| ご住所             | TEL ( ) |     |       |



32 Detroit Drive  
Rolleston 7675  
New Zealand



| US                                                                                    | REP |
|---------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| Medicept<br>200 Homer Ave, Ashland, MA 01721<br>United States<br>Tel: +1-508-231-8842 |     |

| EC                                                                                                   | REP |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| BEO MedConsulting Berlin GmbH<br>Helmholtzstr. 2<br>D-10587 Berlin, Germany<br>Tel: +49-30-318045-30 |     |

| UK                                                                               | REP |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----|
| Advena Ltd<br>Pure O ces, Plato Close<br>Tachbrook Park, Warwick<br>CV34 6WE. UK |     |